

(例)

【様式第 1 号 別紙 1】

事業実施計画書

1 申請者の概要

(申請日現在)

施設名称		代表者氏名	
住所（所在）		※社会福祉法人の場合、非営利法人のため資本金は 0 円	
施設種別		資本・出資金	0 円
利用者数	在籍園児数	人（うち外国にルーツを持つ未就学児 人）	

2 事業内容等

※事業内容はなるべく枠すべてを記入する（現状、課題、今後の抱負等）

事業内容、事業を実施しようとする背景や目的、必要性を具体的に記載。

本園では、近年、外国にルーツを持つ子どもや保護者の利用が増加しており、今後も多国籍の児童の入園が見込まれている。しかし、現状では通訳人員を配置することが難しく、保護者とのコミュニケーションにおいて意思疎通が十分に図れない場面が生じている。特に、入園説明や進級時の購入品（教材、体操着等）の案内、園生活に関する重要な連絡事項など、誤解が生じると保育の質や安全に影響する場面で言語の壁が課題となっている。

また、宗教上の理由による食事の制限やアレルギー対応など、個別の配慮が必要なケースも増えている。これらは保育の安全に直結する極めて重要な情報であるが、言語の違いにより正確な確認が難しい状況がある。保護者が伝えたい内容を十分に理解できていない、または園側の説明が正しく伝わっていないと感じられる場面が散見され、双方に不安が生じている。

こうした課題を解消し、外国にルーツを持つ親子が安心して園生活を送れる環境を整備するため、本事業では多言語翻訳機「ポケットーク」を導入する。ポケットークは多様な言語に対応し、リアルタイムで翻訳が可能であるため、職員が通訳者を介さずに保護者と直接コミュニケーションを取ることができる。これにより、入園説明、健康状態の共有、宗教上の食の制限やアレルギーに関する確認、持ち物や購入品の案内、緊急時の連絡など、保育運営上重要な場面で確実な意思疎通を図ることが可能となる。

本事業の目的は、外国籍保護者とのコミュニケーションの質を向上させ、言語の違いによる不安や誤解を解消することである。ポケットークの導入により、職員の負担軽減と情報伝達の正確性を高め、誰もが安心して利用できる保育環境を実現する。また、今後増加が見込まれる多国籍児童への対応力を強化し、地域の多様性に応じた保育サービスの提供につなげる。

以上の理由から、本園では外国にルーツを持つ親子の円滑な受け入れに向けた保育環境整備の一環として、ポケットークの導入が必要であると判断し、本補助金の申請を行うものである。

3 事業実施期間

※開始予定日：交付決定後の余裕をもった日付

（申請日から交付決定まで 10 日間ほど時間が必要）

※完了予定日：支払いが完了する予定日

開始予定日	令和	年	月	日
完了予定日	令和	年	月	日

※ 開始予定日は事業の着手予定日を記載。

※ 完了予定日は補助対象経費の支払いを含め事業が完了する予定日を記載。

(例)

【様式第 1 号 別紙 2】

事業収支予算書

1 収入内訳

(単位：円)

区分	金額	資金の調達先
自己資金	15,500 円	
借入金	円	
補助金	30,000 円	※千円未満端数切り捨て、端数は自己資金で調整
その他	円	交付申請書の【1 補助事業に要する経費】
合 計	45,500 円	【2 補助対象経費】と同額

※ 補助金欄は、補助対象経費の 2 / 3 以内の金額を記載

※ 合計は、「2 支出内訳」の合計と同額となること

2 支出内訳

(単位：円)

対象事業	経費区分		金額	積算基礎
	項目	細目		
外国にルーツを持つ親子の円滑な受け入れに向けた保育環境の整備事業	機器購入費	自動翻訳機器	45,500 円 ※税抜き	45,500 円 × 1 台
補助対象経費	合 計		45,500 円	

※ 消費税等仕入控除税額を控除した金額を記載すること

※ 経費項目は適宜追加・削除すること